

オングル島見聞録 その2

～第58次日本南極地域観測隊に同行して～
奈良県立青翔中学校・高等学校 教諭 生田依子



オーロラの祝福

12月5日夜10時ごろ、しらせの前方に緑色カーテン状のオーロラが出現しました！往路でオーロラが観測できるのは大変珍しいことだそうです。私はお風呂に入っていました。私がお風呂に入っていたのですが、大急ぎで写真を撮りに出ました。結局、うまく取れなくて困っていたら、ペンギンの研究者が写真をくださいました。



冰山初視認

「12月6日11時36分55秒、初冰山視認」としらせに放送が響きました。しらせ艦内では、毎年、初冰山視認時刻あてクイズをしています。今年は観測隊員の岡本さん(なんと奈良県出身)が、時刻を当てました。

この日以降、しらせの周りには大小様々な冰山が見られます。南極に接近しているという実感がわいてきます。



南極観測船「しらせ」艦内見学と実習

南極観測船「しらせ」(艦番号AGB-5003)。初代「しらせ」の後継艦として2009年に就航し、南極地域観測隊の人員や物資の輸送、観測支援を行ってきました。運用は海上自衛隊によって行われているため、いわゆる軍艦としての扱いを受けます。乗り込むとすぐにしらせ艦内での生活の諸注意や艦内見学がありました。しらせでは数字の聞き間違いを防ぐために、独特の読み方をします。例えば、1は「ヒト」、2は「フタ」とよみ、12時00分のことは「ヒトフタマルマル」といいます。また、軍艦として「威容を保つ」必要があることを知りました。軍艦の品位は乗組員の態度によるため、観測隊員も艦内の規則に従う必要があるのです。その後、救命艇へ乗り込む訓練や、ヘリコプターなど航空機へ、位置と風向きを知らせるための「信号発煙筒」の海中投下訓練などをうけました。



しらせ艦内の数字の読み方



救命艇の内部



信号発煙筒 海中投下訓練

「しらせ」での食事

しらせでの食事は、月曜日はシリアル、水曜日はパン、金曜日昼はカレー、9のつく日はステーキと決まっています。これは、航海中、曜日感覚を忘れないためだと言われています。オーストラリアのフリーマントル出港の12月2日の夜は、全員にロブスター一尾のお刺身が出ました。

